

# 田倉川と暮らしの会 第4号

1999年3月10日発行

## ● タイムアドベンチャー・リバーアドベンチャー ～3月27日開催～



赤谷川7号石組み堰堤の階段状の美しい水通しの一つ

田倉川赤谷の時に生んだ宝物、土地の先人達が総出で造り上げた「明治の石組み砂防堰堤群」を約2キロメートルの川(沢)に探しながら、自然に調和する歴史的文化遗产と親しむタイム&リバーアドベンチャーを開催します。昨年の探検では、9個の堰堤中6個を確認しましたが、草本、樹木に妨げられて3カ所が未発見のままです。視界の最も良い時期を選んだのですが、もしかすると奥山には残雪が待っているかもしれません。奥山の春を告げる沢のせせらぎと滝の轟く響きに浸りながら、9時から正午までアドベンチャー、午後は囲炉裏を囲んで、川の文化遗产を先人たちはどのような情念と感性で造り上げたのか、タイム・アドベンチャーやリバーアドベンチャーの手法などを切り口に、愉快的な座談会を計画しています。天候が悪い場合は、山の家で開催します。詳しくは会長または事務局までお問い合わせください。

後援：ドラゴンリバー交流会・HINOリバーサロン

## ● 残雪ネイチャープログラム

- ・集合時間：午前9時(今庄町古木)
- ・集合場所：リトリートたくら駐車場
- ・個人装備：沢を歩く服装と昼食、アドベンチャー携行品
- ・解散時間：午後4時頃
- ・会費：2千円(通信費、会場費など)
- ・悪天候の時は山の家(リトリートたくらから1km赤谷上流)で開催します。
- ・沢登りに絶えられ、冒険心旺盛な人なら何方でも歓迎します。

## ● 権八さんの黒炭窯・炭材の詰め込み

窯の底に煉瓦で受けて金網を敷きその上に炭材を立て込んでいく。炭材は壁に密着させ炭材間に隙間のできないように立て込み、排煙口前には丸ものを立て、点火室付近の灰化するところには不良木を立て中央に従って良い炭材を詰める。また、炭材は太い方を上にして真っ直ぐに密に詰め込むようにする。上げ木も隙間のできないように密に詰め、天井に接する部分と炭材の頭部には細いものを使い、中央部には炭材と同径くらいのものか太いものを上げるのがよい。また老木の場合には太い材を直接炭材頭部にのせると、頭部を痛めることが多いので注意すること。今年の冬は、権八さんの黒炭を分けていただき、大正時代の四角い七輪で煮炊きをしたり鍋や魚を焼いて楽しんだ。写真は、みぞれの吹き付ける寒い日の詰め込み作業に精をだす権八実会員（田中）

